

# 東日本大震災

## 2017. 10. 6 発行 No.50

# 愛と希望の復興：宮城県

# ペアリング支援ニュース

発行者：  
中央大学理工学部人間総合理工学  
環境デザイン研究室  
〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-  
27 2号館 2811・2817号室

協力：RISTEX  
社会技術研究開発センター

## 8/9~10 に環境デザイン研究室で 宮城県内の被災地の現地見学を行いました。

8/9~10の2日間、環境デザイン研究室の学生で、宮城県内の被災地の現地見学を行う1泊2日の合宿を行いました。宮城県内の5つの地域（仙台市、岩沼市、名取市、亶理町、山元町）をまわり、学生各々が震災当時の記録や復興の現状について理解を深める機会となりました。

現地見学の際は、玉浦西まちづくり住民協議会、現地の語り部タクシーの方々にご協力いただきました。

### 名取市

名取市閑上地区に行き、日和山の上から津波による甚大な被害を目の当たりにしました。かつては人々が賑わっていた街並みも、現在では荒涼とした更地が広がり、住宅の基礎部分だけがむき出しになっていました。魚市場などは開業され、復興が少しずつ進んでいますが、人の居住が制限され、いまだ活気が失われた状態です。昔から存在する漁業という「ポテンシャル」を生かしながら、人と海が共生するまちの復興を、早急に進めていくことが大切であると考えました。

### 岩沼市

環境デザイン研究室で現在に至るまで携わってきた支援の一つである千年希望の丘を見学しました。その中でも特に全般的な支援を行ってきた「希望の環」を訪れ、植樹祭で植えた木々がきちんと根付きすくすく成長していることを確認できました。環境デザイン研究室が地域の方と共に一から計画してきたこの希望の環が、多くの人に関わって少しずつ森に近づいてきました。今後も1000年先へ人々に愛される杜を届けるために、見守っていきたいと思います。

また、被災された六つの地域（相野釜 藤曾根 二野倉 長谷釜 蒲崎新浜）の集団移転先である玉浦西地区を伺い、玉浦西街づくり協議会の中川さん、小林さんのお話を聞きながら歩きました。地域の方々が環境デザイン研究室と共に考えてきた玉浦西地区が魅力的な街へと成長していることを、公園で遊ぶ子供たちの姿や町に根付いた居久根などの緑をみて実感しました。住民たちの意見や思いを反映させた「愛される復興まちづくり」が重要であることを再認識しました。



<名取市> 日和山頂上から見た風景



<名取市> 震災前後の閑上地区の写真



<岩沼市> 千年希望の丘交流センターで説明を聞く学生たち



<岩沼市> 地域の方々と会話をしている石川先生

## 亘理町

亘理町では、亘理町立荒浜中学校やわたり温泉鳥の海などの建物を見学しました。荒浜中学校は、震災の津波により1階の天井付近まで浸水しました。そのため、建て替えを行い、2014年に新校舎が完成しました。大きな被害を防ぐために、校舎1階にピロティ構造が取り入れられています。また、鳥の海では潮干狩りをする人で賑わっていましたが、震災後は堤防により潮干狩りの場所は閉ざされました。このことにより、生物多様性の宝庫をどうすべきかが現在そして今後の課題となっています。



<亘理町> 建て替えられたわたり温泉鳥の海



<亘理町> 津波の経験から、水が抜ける構造を取り入れた荒浜中学校

## 山元町

山元町の沿岸部にある中浜小学校に伺いました。そこもまた、東日本大震災で津波により大きな被害を受けたところです。教室が破壊され、校舎の前にある時計台が倒壊していることが、津波の激しさを物語っています。津波が来た時、中浜小学校の生徒らは2階の広場に一時避難しましたが、その後も浸水深が増し続けたため屋根裏倉庫に避難しました。校舎の2階の天井まで浸水しましたが、先生方の判断により全員の命が救われました。現在校舎は震災遺構として保存されています。



<山元町> 津波によって破壊された時計台と校内



<山元町> 津波に襲われた中浜小学校



集合写真